

千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌
第17号

発行日：2022年(令和4年)7月1日
発行：富山県立大学同窓会 会長 野開勝政
編集：「千瓢」編集部 [編集長 池上 勤, 編集員 炭谷 優子]
住所：〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内
電話：0766-56-7500
メール：senpyokai@pu-toyama.ac.jp
URL：https://tpu-dosokai.jp/

DX教育研究センター

令和4年4月1日開設



インタビュー特集

DX 教育研究センター所長
唐山 英明氏

鉄骨造2階建て、延床面積約 2,235 m²の建物で、最新の装置を備えたデジタルラボや壁のないワンルーム空間で色々な研究・教育活動を展開できるデジタルスタジオ等を整備

DX(デジタルトランスフォーメーション)の定義

DXには確固とした定義はありませんが、概ね法人などでは「製品サービスのあり方や顧客への届け方、さらには、それらを実現するための仕事の進め方、働き方など、デジタルテクノロジーを活用して改革する中で、日々の業務改善と、新規事業やサービスを創造し、企業や社会の持続的な成長に貢献すること」と定義さ

れています。

DXに類似した略称にUXやCXがあります。UXはUser Experience(ユーザー体験)、CXはCustomer Experience(顧客体験)の略で、Experienceを“X”で表しています。これに対してDXの“X”はTransformationを表しています。これは欧米でトランス、つまり変換することを“X”で表すことに起因しています。

目次

- 1 インタビュー特集
- 2 DX 教育研究センター所長 唐山 英明 教授
- 4 学生団体「DEN-DEN」設立 山崎 裕貴
- 6 先輩たちとちょっと交わっていいこう 名誉博士 中尾 哲雄
- 7 大学ニュース
- 8 研究室の近況案内 機械システム工学科/知能ロボット工学科/医薬品工学科
電気電子工学科/情報システム工学科/環境・社会基盤工学科/生物工学科
- 8 この数字をご存じですか?
- 9 短信 COC から CBL へ
- 10 同窓会日誌
- 11 はてなクイズ
- 13 せんぴょうノート
- 14 お下がりはおかしいー不要制服の譲渡会ー

- 15 『法華経曼荼羅の研究』～制作者の「祈り」に寄り添う
名誉教授 中 哲裕
- 16 人生、山あり谷あり 野開 勝政 同窓会会長
- 16 広告掲載企業一覧
- 17 ウイズコロナを目指して 澤 嘉昭
- 18 私の好きなもの 中島 宏記/荒木 信幸
- 19 声
- 20 3冊の本 金城 朱美 准教授/深沢 広治
- 22 イタイイタイ病資料館の「語り部」となって 柞山 明
- 23 プレゼント
- 24 2022年度同窓会総会中止のお知らせ
- 24 寄付金報告
- 24 編集後記

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の1期生です。

2022年4月1日、富山県立大学に
DX 教育研究センターが開設されました。
初代所長に就任された唐山英明教授に話を伺いました。



■ 始めに DX 教育研究センターのあらましをお聞かせください。

DX はデジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術で世の中を良くしようという考え方で、特定の学問を指すものではありません。この DX という言葉は今、多くの場面で出てきて、それを推進しようという動きが高まっています。その動きを受けて富山県立大学でも準備を進め、今回センターの開設をすることになりました。DX に対応した人材を育成するために、情報システム工学科の学生定員を 45 名から 25 名増やして 70 名に、知能ロボット工学科の学生定員を 60 名から 10 名増やして 70 名にしました。デジタル技術を学んだ学生が増え、県内の企業に多く就職して行くことを期待しています。大学がハブとなり、壁のないオープンな環境で、教員や学生、企業の方、自治体の方と一緒に DX を推進し、イノベーションを起こそうというコンセプトで進めています。

■ デジタル技術は今までも研究されてきたのですが、最近 DX が注目されてきたのはどうしてですか。

DX の考え方が出てからもうかなり経ちますが、最近ではコンピュータの性能が上がり、「人工知能」や「モノのインターネット」の技術が発展し、「コンピュータが人間よりうまくできること」が増えています。それで DX、デジタルトランスフォーメーションで社会変革を起こせるということで、国も力をいれていて DX という言葉をよく聞くようになっています。高校生でも勉強すれば人工知能のソフトウェアを作れる時代になっていて、社会に技術が広がっている状況が後押ししていると思います。

■ その中で DX 教育研究センターの役割はどうなりますか。

大きく分けて二つあります、まず始めに高度な研究の推進です。今まで大学で進めてきた研究は継続して、特に様々な分野でデジタル技術を取り入れて進めていきます。もう一つは教育で、特に社会人教育が重要と考えています。もちろん学生に対する教育も行いますが、企業の方に対して DX に関連する教育をさせていただく、これに力を入れようと思っています。このところ面白いことを考えていまして、センター内に「コワーキングスペース」を設けて企業の方に来てもらい、一緒に勉強会をしたりワークショップを開催したりすることを考えています。この場所で共同作業を進めるうちに、企業同士のつながりもできて、お互いの課題解決や研究開発が進むことを期待しています。1 社だけでできないことが、2 社、3 社で連携をすることでできるようになる、そういうことも十分にあると思っています。それが社会変革につながれば良いですね。

■ そのような研究をする施設やハードの面をお聞かせください。

今までお話ししたコワーキングスペースでは、勉強会やワークショップ、その他のイベントも企画していきますが、その他に広いスペース（約 30 メートル×8 メートル）を確保していて、このオープンなスペースは常時空けておいて、企業の方が来て一緒に実験をしてデータを収集するなど、使いたい人が使いたいときに利用することを考えています。研究機器としては、3 次元測定機、VR 装置、移動ロボット、約 30 メートルの巨大スクリーン、その他に顕微鏡類も揃えています。センサーの作成に役立つ基板加工機など、DX の研究や教育を推進するための設備を整えました。さらに今年度整備する予定のファブラボもあります。言ってみればデジタルに関する工作室です。部品とか 3D プリンタなどの装置があって、ここに企業の方が来て自由に使うことができ、ここに企業の方が来て自由に使うことができ、ここに企業の方が来て自由に使うことができ、ここに企業の方が来て自由に使うことができます。

■ 実際、センターはどんな活動をするのですか。

初年度はコワーキングスペースでいろんなイベントを開催します。多くの企業に集まってもらいたいと思っています。コワーキングスペースの活動には、センターのアソシエイト会員に登録をいただければ誰でも参加でき、無料です（今後有料化となることもあります）。多くの企業に集まってもらい、いろんな企業間の交流が生まれると思います。企業にとってみれば自社にないデジタルに関する知識の獲得ができる、自社の課題解決につながる、などのメリットがあります。

さらに、一般的な公開講座としての社会人セミナーを開催（有料）しますので、奮ってご参加いただきたいです。DX を進めていく場合、問題把握の方法や取り組み方などの＜DX のデザイン思考＞についての講座メニューも準備する予定です。まずセンターに来て講座を受けていただき、またコワーキングスペースを利用していただきたいです。時にはプログラミンの話をしたり、また多くの企業が抱えている「DX の取り組みをどのように進めて行くのか、何から始めればよいのか」というようなお悩みを話し合う場にもなります。また、オープンハウスも企画して、センターの活動を広く知っていただくことも考えています。

■ 参加したいときにはどうすればいいのですか。

富山県立大学研究協力会という 200 社以上が参加している団体があり、そこにはすでにコワーキングスペースやセンターの概要を紹介しています。その他に興味のある方は誰でも参加することができます。先にも述べましたように、センターのご利用については会員制で、DX アソシエイト会員を募集中です。会費は無料で、会員になればコワーキングスペースを使うことができますし、イベント等の情報をお知らせします。

■ 学生は DX 教育研究センターをどう利用されるのですか。

DX の関連知識を学んで専門性を深めた学生が、さらに深く自分の興味のあることを学び、センターのスペースや機材を使用して研究を深めていく中で、企業の方との繋がりができ、共同研究に進んだりするケースを考えています。センターの開所前から学生から施設の使用願いや、研究についての問い合わせが来ています。このセンターは教員が学生を指導する場だけではなく、学生が自分で自由に勉強や研究を進め、それを友達と共有したり、企業の方と一緒に議論したりする場になればと思っています。

■ センターは学生団体と研究は進めるのですか。

センターでは新しくできた学生団体「POLYGON」と一緒に研究を進めることも想定しています。デジタルに特化した専門性の高い分野を勉強している学生が、チームを組んで企業と連携していくこともあると思います。そうすると何が嬉しいかというと、企業と学生が勝手に研究を始めることで、我々教員が「あれやりなさい、これやりなさい」と指示するのではなく、自主的に研究が進んでいくことにもつながり、とても期待しています。

■ 学内には、富山県立大学地域連携センターがあり、今回、富山県立大学 DX 教育研究センターが加わりましたが、その違いは何ですか。

地域連携センターは産学連携の総合窓口であり、DX 教育研究センターは、デジタルに特化した産学官連携を地域連携センターと密接に連携しながら推進していくものです。

■ 富山県立大学の教員の方と DX 教育研究センターの関係はどうなっていますか。

教員の方から DX 教育研究センターと連携して教育や研究をやりたいという提案が多く寄せられています。内容はカーボンニュートラルの実現や製造業の課題解決のための IoT や、VR を使ったものづくり支援などです。その他にも新型センサーを用いた健康モニタリングやバイタルデータのビッグデータ解析も考えられます。さらには、屋外での様々な状況での DX の推進を、学科や職位、年齢を問わずに活発に進めていけそうです。

■ 多くの方からの要望に応えるための運営体制はどのようなになりますか。

センターでは運営委員会が設置され、各学科から一名ずつ参加していただき、月 1 回ぐらいのペース

でセンターの状況を報告したりして、情報共有や意見収集に努めようと考えています。また、センターには専門のコーディネータが常駐していますので、ご要望を受け付ける体制が整っています。地域連携センターなどとも密に連携をしながら DX の推進を行っていきます。

■ DX デジタルトランスフォーメーションとよく似た言葉に DS データサイエンスがありますが？

どちらもよく聞く言葉ですが、DS は学問の一つで数学や数理を専門に扱い、データを使った学問です。どちらかというと基礎的な領域です。DX は DS に比べて応用的、実践的で、社会実装をして人の役に立つことを前提にしています。どんどん外に出て、企業と一緒に研究したり、社会問題を解決したりするというイメージです。DS と DX は深い繋がりがあり、DS を利用してビッグデータ等を研究して、その手法に基づいて DX で問題を解決に導くことが今後多く見られていくと思います。

■ 唐山さん自身の研究は？

脳波や心電図などバイタルのセンシングや解析を専門に研究しています。健康管理等に役立つ研究で、センサーを身につけていただいて病気の予兆を見つめたりするのに役立つと考えています。センターの一員として、バイタルのビッグデータを集めて人の役に立つ研究を進めたいですね。

一本当に長い間ありがとうございました。

インタビューを終えて

唐山さんの話を伺いながら、「センターに来た学生が広いスペースや最新の機械に触れ、企業の方と話をし、共同研究が実現したり、ベンチャー企業を立ち上げたり、多くの人に役立つことを成し遂げる」そんな夢のようなことを思い浮かべました。

池上 勁

富山県立大学 DX 教育研究センター
ホームページ
<https://dxc.pu-toyama.ac.jp>



オープンスペース（下の写真中央）

吹き抜けによって 1 階と 2 階のスタジオがつながっており、いろいろな研究・教育活動を展開できるように工夫されています。テラス側のスクリーンを全て下ろすと、高さ 3.3m × 幅 31.4m の巨大な投影空間としても使用できます。



竣工式テープカット及びくす玉開披



DX 教育研究センター内部



CNC 三次元測定機

日本の伝統工芸を世界に伝える活動に取り組む 学生団体「DEN-DEN」を設立した 山崎さんにインタビューしました。



インタビュー

山崎 裕貴 (やまざき ゆうき)

富山県立大学大学院 電子・情報工学専攻
2022 年 3 月卒業

先ずデンデンという歯切れのいい言葉が耳に響いた。その名前の由来が「日本の伝統を世界に伝える」から来ていて DEN-DEN。高岡漆器、生活様式の変化や安価な外国製品の進出で需要が低迷している。こんな素敵な高岡漆器がなぜ低迷するのか、その良さを知ってもらうために動き出した、DEN-DEN。業界を巻き込んで奮闘する山崎さんにその思いを聞いてみた。

岩本先生との出会い

山崎さんは小杉高校在学中から、富山県立大学との縁があった。初めに職場体験で富山県立大学を選び、そこで運命の人岩本先生に出会う。高校3年生の時に高校生が富山県立大学の研究室の活動を体験する高大連携プログラムがあり、岩本研究室を選び体験授業を受けた。そのことが縁で富山県立大学を受験して入学を果たす。

学生団体、地域協働研究会 COCOS に入団

大学に入り岩本先生のすすめで学生団体、地域協働研究会 COCOS に入団する。「富山県の発展を目指した県民の大学」という建学の理念のもと、地域の抱える問題を地域の人と協働しながら解決する学生団体で活動は多岐にわたる。先輩の姿を見ながら活動を進めていき、3年生で代表になる。代表になって手がけた活動が3つある。1つめは富山県立大学の地元射水市「いずみ祭り」(射水青年会議所主催)でイベントを担当した。カラーインクで白いTシャツを染める「いずみトゥーン」というサバイバルシューティングゲームで子供から大人まで多くの世代に楽しんでもらった。2つめは三井アウトレットパーク北陸小矢部で実施した「メルヘン謎解きウォークレット」でクイズ、頭を使ったゲームなどで富山県の魅力を体験してもらう企画で、参加した県外の人にも好評だった。3つめは山崎さんが一番手応えを感じたもので、「氷見海鮮丼 MAP」作りで氷見は寒ブリ等で有名な町だがおいしい海鮮丼もあり、それを知ってもらうための企画で拡販につ

ながった。3つの企画は、関係した多くの人を巻き込み、多くの人に参加してもらい、そしてやり遂げることが出来て嬉しかった。

DEN-DEN の誕生

大学院に進み、コロナ禍で少し時間的な余裕ができたとき、いみず祭りで関わった方から、今までの地域活動をビジネスの面から考えてソーシャルビジネスコンテストに参加してはという誘いを受け参加した。そのコンテストが終わり、学内の掲示板チラシ「第1回北陸ビジネスプランコンテスト(日本海ラボ主催)」が目に入り、参加資格に3名以上のグループとなっていたために、メンバーを集めて3名で参加することを決定。グループ名が必要になり、ビジネスプランのテーマを高岡漆器と決めていたため、「日本の伝統を世界に伝える」の伝と伝から「DEN-DEN」に、でんでん虫の語呂も参考にして決めた。

ビジネスプランの作成のために高岡漆器関係者の取材を開始する。ここで話は10年前に遡る。高岡市では小中学生を対象に高岡の伝統工芸を基礎から制作して学ぶ「ものづくり・デザイン科」(全国唯一)がある。小学6年生の時「ものづくり・デザイン科」で高岡漆器を勉強し、一年掛けて木に塗るところから、最後に貝を貼り付ける工程までして、時計を完成させた。時計は祖母に贈って喜ばれた。

今回のビジネスプランに高岡漆器を選んだのは、その時の思いもある。取材を開始して一番初めに会った高岡漆器関係者が、小学6年生の授業で指導



氷見海鮮丼 MAP お披露目の集合写真



いみずトゥーンの集合写真

を受けた職人の方だったのには驚き、10年ぶりの再会になった。そんな嬉しい驚きもあり調査が進み、関係者20名以上を取材した。高岡漆器の魅力と問題点を調べて、販路拡大のビジネスモデルを提案した。コンテストは好評で審査員特別賞を受賞する。その賞金を元に「DEN-DEN」の活動が始まる。

高岡漆器の魅力（日本の伝統を世界に伝える）

富山市の料亭「来人喜人（きとくと）はぎ原」さんから高岡漆器のお椀の注文がDEN-DENに舞い込んだ。高岡漆器の技法「青貝塗（あおがいぬり）」によって桜吹雪を表現したお椀が完成して、そのお披露目会が「来人喜人はぎ原」で行われた。曲面に貼り付ける技法は大変難しくそれを克服しての完成で喜びも多かった。なおこのお椀は第56回全国漆器展で日本漆器協同組合連合会理事長賞を受賞して、全国的に注目を集めている。

高岡漆器組合とDEN-DENの共催で「アランマーレ富山女子ハンドボールチーム高岡漆器制作体験教室」を高岡地域地場産業センターで開催した。アランマーレの選手が高岡漆器の制作体験を通して漆器に親しんでもらう企画で、知名度の向上に貢献した。

高岡漆器のオンライン配信事業を実施した、教育関係のベンチャー企業との共催で高岡漆器の歴史や特徴、技法などを紹介した。

山崎さんは今年4月大学院を卒業して、県外の方に就職する。DEN-DENの活動は高岡漆器組合の方々と協力しながら続ける。



10年越しに再会する
高岡漆器の職人



料亭「来人喜人（きとくと）はぎ原」さんで行われたお披露目会の取材風景

—我々は創造する楽しみを持つことだ—

◎ 竹沢建設株式会社

代表取締役 四井 慎一

本店 〒934-0056 富山県射水市寺塚原836番地3
TEL(0766)84-8888(代) FAX(0766)84-8865



北陸ビジネスプランコンテストで審査員特別賞を受賞



小学6年生の時に作った高岡漆器の時計

高岡漆器のオンライン配信事業を実施したときの様子



アランマーレ富山女子ハンドボールチーム高岡漆器制作体験教室の様子

<取材を終えて>

多くの活動を支えているのは、山崎さんが身につけたデジタルスキルの高さが根底にある。情報発信能力の高さは群を抜いていて、これからの活動にも大変役立つと思う。どんな形でDEN-DENが発展するか楽しみだ。

池上 勁



測量・設計・補償・調査
株式会社 寺島コンサルタント

富山市田中町 1-14-10 代表取締役 寺島 雅峰
Tel. 076-444-1355
<http://terasima.jp/>

From
2D
To
3D



無人飛行体 (UAV)

・3次元空間を計測
・3次元データの
利活用

**Total
3D Survey
System**



車載型レーザーキャナ



地上型レーザーキャナ

人観を変えていくところにある。

個性がないのではなく、ただその色彩が違うに過ぎない。没したように見える個性は日本人の天性の謙虚さであり、個を抑えて折れ合って、いわゆる折り合いをつける折衷主義はむしろ積極的な日本人の特性とまでみるようになっていくのである。

ハーンが日本人の特性とみなしたのは、親切、礼節、英雄的精神、自制心、献身、親孝行、信義などである。旧日本社会はこのような特性をもって支えられていたのであろう。

八雲が日本人の特性とみなした謙虚な個性も個を重視する傾向が強まる中で、俺が俺がの個性重視となり、組織、地域、社会、国よりも個が重要との風潮を生んでしまった。連帯感はますます希薄になってしまった。

× × ×

寮からの手紙がきっかけとなって、私は年令がかけ離れた多くの先輩方と交わりをもつことができた。世代間の交流をもっとすすめていく“世代際化”を説いている。

経営でも多くの業と提携する業際化で成功してきたと思っている。

私の大好きな県立大の諸君、多くの人々と交わっていただきたい。諸君の成功を祈ってやまない。ありがとうございました。

《近況》

気がついてみると86歳になっていました。昨年、全ての経営から引退しましたが、志道経営研究所をつくり、若い経営者たちにいろいろ伝えています。県、市の諸計画の策定委員や音楽文化協会の会長をしております。

県立大OBたちとの交わり、一杯やることも楽しみの一つです。

大学ニュース

役職教員

- | | | |
|--------------------|--------|----|
| ● 学 長 | 下山 勲 | 教授 |
| ● 副学長・工学部長 | 中島 範行 | 教授 |
| ● 看護学部長 | 竹内 登美子 | 教授 |
| ● 学生部長 | 大島 徹 | 教授 |
| ● 入試・学生募集部長 | 高木 昇 | 教授 |
| ● 附属図書館長 | 川上 智規 | 教授 |
| ● 地域連携センター所長 | 神谷 和秀 | 教授 |
| ● キャリアセンター所長 | 鈴木 真由美 | 教授 |
| ● 計算機センター所長 | 鳥山 朋二 | 教授 |
| ● 生物・医薬品工学研究センター所長 | 加藤 康夫 | 教授 |
| ● DX教育研究センター所長 | 唐山 英明 | 教授 |
| ● 教養教育センター長 | 福原 忠 | 教授 |
| ● 工学部主任 | | |
| 機械システム工学科 | 堀川 教世 | 教授 |
| 知能ロボット工学科 | 小柳 健一 | 教授 |
| 電気電子工学科 | 畠山 哲夫 | 教授 |
| 情報システム工学科 | 奥原 浩之 | 教授 |
| 環境・社会基盤工学科 | 伊藤 始 | 教授 |
| 生物工学科 | 生城 真一 | 教授 |
| 医薬品工学科 | 村上 達也 | 教授 |
| ● 看護学科長 | 佐伯 和子 | 教授 |
| ● 看護学生科長 | 田中 いずみ | 教授 |
| ● 看護研究・地域連携科長 | 岡本 恵里 | 教授 |

昇 任

- | | | |
|----------|------|----|
| ● 工 学 部 | | |
| 教養教育センター | 岡本 啓 | 教授 |
| 教養教育センター | 室 裕司 | 教授 |



緑を育み、未来へつなぐ



SAKAE GREEN CORP.

代表取締役 山本 栄

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL (076) 434-0036
FAX (076) 434-4968
HP <http://www.sakaegreen.com/>

サカエグリーンはカタール・富山を応援しています

ゆたかな経験 確かな技術



総合建設業

中越興業株式会社

代表取締役 山下 博

本社 富山県南砺市野口800番地 TEL (0763) 62-1221
FAX (0763) 62-1222
富山支店・岐阜営業所 <http://www.tyuetsu-kogyo.co.jp>



測量・設計・補償・調査・計画・施工管理

おがわ
株式会社 雄川コンサルタンツ

代表取締役 雄川 薫 雅

本社：〒939-1357 富山県砺波市小杉213番地
TEL：0763-33-5628 FAX：0763-33-2895
支店：小矢部・入善・南砺・高岡・立山・射水・氷見
URL：<http://www.1956ogawa.co.jp>

地域の未来をつむいでいきます

測量／設計／補償／地籍調査／3Dレーザー計測／システム開発



株式会社 上 智

本社 〒939-1351 富山県砺波市千代176番地の1
TEL 0763-33-2085 HP www.johchi.co.jp

研究室の近況案内

機械システム工学科

設計生産工学講座

岡村 茂樹 准教授

日本は世界有数の地震国です。南海トラフで発生する巨大地震では、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があるほか、それに隣接する周辺の広い地域で震度6強から6弱の強い揺れになると想定されています。また、比較的地震が少ないと考えられている富山県でも、砺波平野断層帯、呉羽山断層帯、庄川断層帯、牛首断層帯と跡津川断層帯があり、地震ハザードステーション (J-SHIS) でも、富山県で震度6弱以上の揺れに見舞われる可能性が示されています。研究室では、地震から建物を守るために、免震装置や減衰装置の研究開発や機械構造物の耐震評価手法等の研究を行っております。

免震とは、建物と基礎との間に免震装置を設置し、建物に地震の振動を伝えない構造であり、今では一般住宅からビル等、様々な建物に採用されています。多くの免震建物には積層ゴムが使用されています。本学の射水キャンパスの中央棟も、積層ゴムを用いた免震建物です。免震の採用によって地震時の揺れを低減でき、建物の設計自由度を広げています。研究室では、従来の水平方向のみならず、上下方向にも揺れを低減できる3次元免震装置を開発しております。また、建物に伝わった振動を吸収する制振装置であるオイルダンパーも開発しております。その他、地震時に機器に入力された振動エネルギーによる破損評価手法や、サポート構造による抵抗力を考慮した配管の耐震評価手法の研究開発を行っております。さらに、エレベーターの地震時の振動評価、破損確率に基づいた検査等の評価手法を検討しております。

地震対策技術は身近で直結した課題となっており、企業、研究機関、他大学と共同で研究開発を進めております。これらの研究成果を整理し、実際の建物や構造物の設計に反映していきたいと考えております。



中央棟の地下に設置されている免震装置
(上：積層ゴム、下：オイルダンパー)

2 この数字を 1
3 覚えておこう

70



富山県立大学は情報システム工学科の定員を45名から25名増やして70名に、知能ロボット工学科の定員を60名から10名増やして70名にした。今年4月から開設したDX教育研究センターにあわせて行われた。デジタル技術を学んだ学生さんを増やして、DXで社会を変えようという趣旨から今回の定員増が実施された。

水と寄り添うテクノロジー。人と街に、安心と潤いを...



水機工業株式会社

本社／富山市黒崎172 (076-491-2533)

小矢部事業所／小矢部市柳原748 (0766-67-2858)

<http://www.suikikogyo.co.jp/>



未来の自然を考える

株式会社 国土開発センター

測量・調査・設計・総合コンサルタント

取締役富山支店長 御器谷 正人

射水営業所長 野開 勝政

富山支店 : 〒939-8213 富山市黒瀬13番地3
TEL(076)420-9800・FAX(076)420-9808

射水営業所 : 〒939-0313 射水市塚越1816番地
TEL(0766)56-8558・FAX(0766)56-8559

<http://www.kokudonet.co.jp>

研究室の近況案内

知能ロボット工学科

知能情報システム工学講座

増田 寛之 准教授

私が富山県立大学に着任して早くも8年が経過しました。その間、研究棟からプレハブの西棟を経て現在の中央棟4階と2度の引っ越しを経て現在の研究室に至っています。さすがにもう引っ越しはないであろうと思っています。

さて、私の研究室では講義支援ロボット、電気自動車、ドローンなど様々なロボットを用いた研究を行っています。取り留めの無いようにもみえますが、ロボットと人との共存・共生を共通のテーマとし、心理学や社会学などの観点も取り入れてロボットの意思決定に関する研究に取り組んでいます。本研究室の成果を分かりやすく示す一例として、大学のPRキャラクターであるドンマス教授をロボット化したドンマス教授ロボを用いて、「ロボット制御工学」の一コマをドンマス教授ロボが講義をしています。2015年から毎年ロボット講義を実施してお

り、徐々に機能を追加してきています。ドンマス教授ロボになる前は、小型ヒューマノイドロボットに「まさる君」と名付けて先生役をやっていました。2019年にはまさる君の新型モデルを導入して「いさおちゃん」と名付けて先生役を引き継いでいます。こちらの名前は、お察しかと思いますが前学長の石塚勝先生と現学長の下山勲先生からいただいています。お名前の使用についてご快諾いただいた学長先生に感謝いたします。まさる君、いさおちゃんはオープンキャンパスやサテライトキャンパス等でも活躍しており、大学や学科の紹介をしており高校生からの評判も上々です。昨年からは、ドンマス教授ロボ、まさる君、いさおちゃんの日常を描いたROBOT CHANNEL(<https://www.youtube.com/watch?v=JV78oq0x5-U>)としてYouTubeデビューを果たしました。YouTubeだけでなく、私の研究室のホームページや大学の高校生向け特設サイトともコラボしています。興味を持たれたら是非ご覧下さい。



ロボットによる講義の様子

(約70分間完全自動で参加者とインタラクションを取りながら講義を実施)



小型のヒューマノイドロボット

左：いさおちゃん 右：まさる君

短 信

COC から CBL へ

「地域協働 news」

地域協働支援室発行より

これまで文部科学省による地(知)の拠点整備事業=Center Of Community 事業[採択期間:H25~29年度]の略称:COCを継続して用いていましたが、今年度より英語での略称をCBL(Community Based Learning)事業と変更しました。今後も大学キャンパス内だけに留まらず、地域を舞台に、地域の皆さんと学び合う取り組みを継続していきます。

New infrastructure X

NIX

株式会社 新日本コンサルタント

本社 〒930-0857 富山市奥田新町1番23号
東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号

www.shinnihon-cst.co.jp

Life with Green Technology
環境技術でひらく、豊かな暮らし

三協アルミ

北信越支店 富山ビル建材部

〒930-0982 富山市荒川3-2-6 TEL (076) 492-0083

研究室の近況案内

医薬品工学科

バイオ医薬品工学講座

河西 文武 講師

2017年4月よりバイオ医薬品工学講座で講師をつとめております、河西文武と申します。当初は所属学生もおらず、講義がなければ一言もしゃべらない日もありましたが卒研配属に伴い、現在では修士課程大学院生4名、卒研3名と少しずつにぎやかになってきたと感じております。

本研究室では、大きく分けて2つのテーマについて取り組んでおります。1つは自然免疫経路の1つであるNLRP3インフラマソームという分子機構を制御し得る薬剤を探索し、将来的に有望なお薬の開発につなげるというものです。私はこれまでこの分子機構が動脈硬化や大動脈瘤といった慢性炎症で重要な役割を持つことを明らかにしていたのですが、疾患そのものの理解よりもこれらの疾患を予防したり、治療したりできる薬の開発に徐々に興味を持っていったため研究室を開設するにあたりこのテーマに取り組みました。何人かの卒研生がこのテーマを進めてくれたおかげで、現在ではいくつかの生薬成分でこの分子機構を抑制し得る結果が得られており、今後の発展が楽しみです。

もう1つのテーマは鶏卵の中にタンパク質製剤を含ませることができるといわれるニワトリを作出するというもの

のです。なぜニワトリ？と思われるかもしれませんが、私は信州大学農学部出身で学生時代はニワトリを研究材料に再生研究や希少鳥類の個体復元に関する研究を行っておりました。学位取得後はニワトリを用いた研究から離れていましたが、いずれニワトリをテーマにした研究を再開したいと思っていましたため、バイオ医薬品製造にからめて本テーマを進めております。具体的な方法については紙面の都合上割愛しますが、ニワトリをテーマにした研究は少し珍しいかと思うので、興味のある方はご一報頂きますと幸いです。

今後これらの研究テーマを学生とともに進めながら、豊かな知識と経験を持つ技術者や研究者の育成に携わることで社会に貢献したいと考えております。



体外培養中のニワトリ胚

このようにひよこになる過程をリアルタイムに観察ができます

同窓会日誌

同窓会炭谷優子事務局長の日誌です。

2021年7月12日

とうとう旧短期大学校舎が取り壊されました。2週間前に見た時はまだ大部分が残っていたのですが、今はもうほとんど形がありません。長い間お疲れ様でした。短期大学部もなくなり校舎も無くなってしまいますが、富山県立大学はどんどん新しく生まれ変わっております。図書館付近にはDX教育研究センター（仮称）の建築も始まりました。



旧校舎が壊されて、大谷講堂と計算機センターが見えるようになりました



建設が始まったばかりのDX教育研究センター

研究室の近況案内

電気電子工学科

集積機能デバイス工学講座

畠山 哲夫 教授

2018年4月に電子・情報工学科の教授として着任しました。現在、電気電子工学科に所属しております。本学に着任する前には民間企業に25年、国立研究所（産総研）に2年間勤務しました。キャリアの大半において、次世代電力半導体であるSiC電力半導体の研究・開発に従事しておりました。SiC電力半導体はSiC電力半導体の国プロに参画した各企業で実用化され、幸いにして新型の新幹線車両（N700S）、新型の山手線車両（E235系）、テスラの新型EV（モデル3）等などに続々と採用されています。私はSiC電力半導体技術とその産業的成功を目の当たりにすることができ、研究者・技術者冥利に尽きると実感しております。

さて本研究室ではSiC電力半導体開発の積み残した課題であるSiC MOS界面の移動度の劣化の要因解明と半導体プロセス改善による移動度の向上に取り組んでおります。本課題の解決によりSiC電力半導体の代表的品種であるSiC MOSFETの性能が向上し、電力変換機器の更なる省エネ化・低コスト化が実現できます。

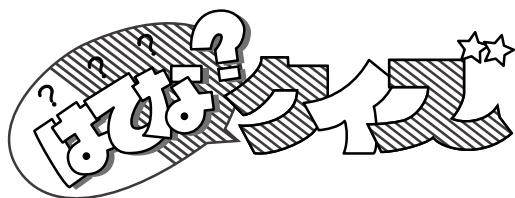
これまでSiC MOS界面の移動度低下の原因が2つに分離できること（高密度のMOS界面準位による電子捕獲による可動電子の密度低下と可動電子の移動度の劣化）を示しました。続いて2019年に本

学と産総研との共同研究でSiC MOS界面を形成するSiC結晶面の選択により界面準位の大幅な低減ができることを示しています。最近、実験と二次元電子ガスの輸送理論で計算した移動度の比較により可動電子の移動度の低下がMOS界面にランダムに分布する界面双極子散乱により説明できることを示し、Journal of Applied Physicsという米国の雑誌に投稿し、掲載されました。

今後は研究室の皆さんと共に、SiC MOS界面の研究の推進により、パワーエレクトロニクスの性能向上を通じて、社会の省エネに貢献したいと考えています。[注：SiC（シリコンカーバイド）はシリコン（Si）と炭素（C）で構成される化合物半導体材料です。]



研究室の教員と卒業生



富山県立大学では、DX教育研究センターの開設に合わせて、デジタル技術を学ぶ学生さんを増やすため、情報システム工学科（今まで45名）の定員を増やしました。また同じ趣旨で知能ロボット工学科（今まで60名）の定員を増やしました。各々の定員は何名ですか。（2学科ともに同数です）

ヒント：8ページの「この数字をご存じですか」を見てください

答えは ○○名

応募フォーム



☆同封のはがき、またはメールで答えと住所・氏名を書いてご応募下さい。正解者10名に図書カード（500円）進呈。正解者多数の場合は抽選とします。締切9月末（当日消印有効）。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。

応募先

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

富山県立大学同窓会事務局

E-mail senpyokai@pu-toyama.ac.jp

締切9月末（当日消印有効）

「千瓢」16号クイズの答え

2020年10月に発行された大学の記念誌は、『富山県立大学〇〇年史』です。

答えは 30

正解者の中から抽選で10名の方に、図書カードをお送りしました。

おめでとうございます。



研究室の近況案内

情報システム工学科

情報システム工学講座

鳥山 朋二 教授

鳥山研究室では、人工知能などを実現するソフトウェア技術、各種センサやそれらを接続するセンサネットワーク技術を用いて、日常生活の様々な局面で役に立ち、社会に広く浸透する情報システムの研究開発を行っています。これらの研究は、浦島研究室や、森島研究室と強く連携して進めています。近年の主な研究フィールドは、高齢人口比率が高い富山県にとって重要な、医療・看護・介護支援分野です。もともとセンサーベースのシステムは、見守り系のプロダクトと関連が深かったのですが、近年この研究から少し違う方向に研究がいくつか分岐しました。

その1つは、要介護認定される高齢者を主な対象とする見守りに対して、要介護者そのものを減らそうとする介護予防の分野です。これは現在、国が主導する地域の「通いの場」など行われている体操プログラムなどの健康増進プログラムが該当します



図1 高齢者eスポーツゲーム「窓拭きの達人」

が、我々はこれまで難しかった介護予防の効果を評価することができるプロダクトを研究開発しました。

センサを使って窓に映された自分が窓拭きを行う「窓拭きの達人」というゲームを作成し(図1)、それを高齢者用のeスポーツとして通いの場に通う高齢者に提供し、その効果を確認しています。この実験をeスポーツ体験会という形で、現在までに富山県内の10カ所以上の場所で延べ30回以上実施しており、参加された高齢者の方から大変な好評をいただいています。

またその他の研究としては、本学に約3年前に設置された看護科と連携した「看工連携研究」があります。看護の先生から、乳児を抱く学生の実習に使うための人形は作れないかという問い合わせを頂き、共同で研究開発を実施しました。当初、何を作ればいいのか分かりませんでした。議論を重ねて試作品を完成させました(図2)。これからも、学内、及び地域の各機関の協力を得ながら上記のような地域の産業活性化につながる研究成果を輩出していきたいと考えています。

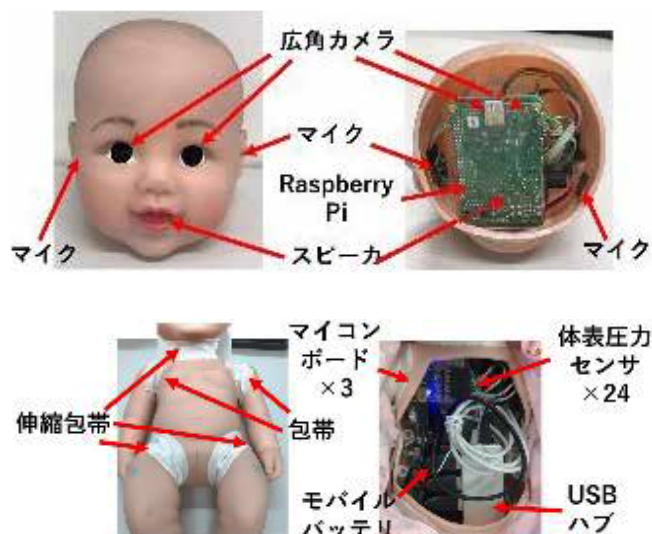


図2 乳児人形型看護技術演習システム

Duplo

from print to documents

オフィス機器の総合商社 デュプロ北陸販売株式会社

代表取締役 大 秦 徹

本社 金沢市福増町北 1300 番地 TEL 076-204-6633
 富山営業所 富山市掛尾町 504 番地 3 TEL 076-492-9191
 福井営業所 福井市西開発 1 丁目 2318 TEL 0766-52-6200



株式会社 中部設計

代表取締役 中 瀬 壽

本社 〒930-0029 富山市本町10番2号
 TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

KIKURA
DTP DESIGN & PRINTINGわたしたちは、
優しさを印刷しています。エコアクション21
認証番号 0001870

24000379(02)

企画・デザイン・印刷・製本・ソフト開発

キクラ印刷株式会社

〒933-0322 高岡市樋詰48-2

[TEL]0766-31-2794 [FAX]0766-31-3526

研究室の近況案内

環境・社会基盤工学科

社会基盤工学講座

呉 修一 准教授

「日本一の研究室を目指して」

当研究室は「防災水工学研究室」として、河川の洪水災害などから人命や社会基盤を守るため、洪水数値シミュレーションや洪水リスクマップの作成を行っています。最近では、地球温暖化の影響評価、緩和・適応策の提案やリアルタイム洪水ハザードマップの開発などに精力的に取り組んでいます。

勘違いしているの？と言われるかもしれませんが、冗談抜きで日本一の研究室を目指しています。それは当研究室の研究活動、就職先、その他のアクティビティを見て頂けると本気だとご理解頂けると思います。昨年度は10名の学生が在室しており、多くの研究成果を国内外のジャーナルに投稿するとともに学会発表し、様々な賞を頂きました。特に土木学会中部支部の研究発表会では、優秀講演者賞が3名でした。同一研究室から3名が受賞するのは、

ビックリな状況です。また、就職先はスーパーゼネコン、日本屈指の建設コンサルタント、県内建設企業、公務員と理想的な就職先となっています。研究以外のアクティビティも活発です。アメリカのラスベガスやハワイ、シンガポールでの国際学会発表はコロナ禍のためオンラインとなってしまいましたが、それにめげずに国内で多くの活動（他大学との交流、現地調査、東北被災地復興状況視察、登山、スポーツ観戦など）を実施出来ました。これら様々な研究・その他の活動を通じて、学生が日本一成長できる研究室と自負しています。

上記の詳細に関しては是非、当研究室のホームページ（<http://www.pu-toyama.com/> 呉修一で検索してください）をご覧ください。末尾ですが、当研究室卒業・在学生の皆様への頑張りにより心より感謝するとともに、今後の富山、日本だけではなく世界で活躍する人材への成長を心より祈念いたします。追伸：卒業生・卒業生以外も是非、気楽に遊びに来てください！



登山の活動



研究室同窓・忘年会（コロナ前）

せんぴょうノート

千瓢（せんぴょう）



昭和38年当時の写真で、扁額「千瓢」が掲げられている茶室



富山県立大谷技術短期大学（富山県立大学の前身）が昭和37年に開学。翌年、茶人の佐藤工業の佐藤助九郎（助庵）さんより茶室と礼法室を兼ねた建物が寄付され、太閤山にちなんで（太閤秀吉の馬印の千成瓢箪から）千瓢と命名。昭和38年9月に富山県立大谷技術短期大学茶華道部誕生する。富山県立大学の機関誌『千瓢』は、この千瓢よりきている。

研究室の近況案内

生物工学科

応用生物プロセス学講座

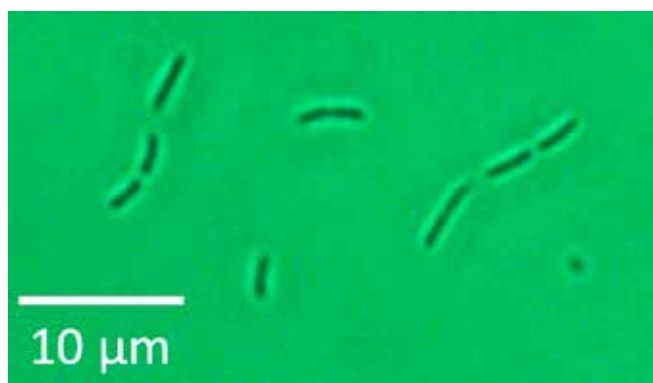
金井 保 教授、牧野 祥嗣 講師、戸田 弘 講師

当研究室は、伊藤伸哉前教授（現 名誉教授）が2021年3月に退職され、同年4月より私（金井）が京都大学工学研究科より着任し、新たな体制となりました。コロナ禍の赴任であり、ラボ内での歓迎会が開かれたのが12月（第5波の後）になるなど、直接的な人との交流が制限された1年間でした。ちなみにこの歓迎会では、既に在籍が1年を超えていた4年生もまだ歓迎会をされていなかったため、新たに入った3年生と共に、研究室内の過半数のメンバーが歓迎されるという会になりました。この様な新たな日常の中、オンラインツールを積極的に取り入れるなど、物理的に密にならない形での「密なコミュニケーション」の確立を、スタッフと共に今も模索中です。

当研究室は2006年の生物工学科設立時より「応用生物プロセス学」の名を冠しています。世間ではSDGsの重要性が繰り返し叫ばれていますが、生物は40億年以上にわたり地球上で持続的に生命を維

持し続けていることから、生物が内包する「生物プロセス」は究極の持続可能型システムと言えます。当研究室では、この「生物プロセスの社会への実装」を強く意識して研究を進めています。教員個別のテーマとしては、金井は好熱菌がもつ他生物にはない特異な生命システムに着目し、それを利用することによる新規な物質変換法の開発を進めています。また現在は、富山県内からの好熱菌の単離も進めています。牧野講師は、生物の機能分子であるタンパク質を改良して、がん治療薬等へ応用する研究を進めています。戸田講師は、有機溶媒耐性微生物を利用した、医薬品原料や機能性食品成分の生産について研究を行っています。

当研究室は教員3名に対し、現在は技術員1名、大学院生1名、学部生6名とこぢんまりとしていますが、生物工学の伝統がある富山の地から優れた成果を世に出すことを目指して、学生と共に日々努力を続けています。



富山県内の温泉から分離した好熱菌

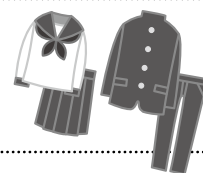


全員がプロセスのPのポーズをしている集合写真
(2021年10月撮影)



<http://matsubara-kensetsu.com/>

お下がりはおかしい
—不要制服の譲渡会—



立田真文（環境・社会基盤工学科）准教授が小中学校の制服（学生服）の再利用を呼びかけて活動を開始した。去年の秋から不要になった学生服を回収ボックスで回収して、今年の春に無償で提供する譲渡会を大学で開催した。「ロマンティック廃棄物—廃棄物からドラマが見える、Mottai-Naiから命が生まれる—」（電気書院）の著作がある立田准教授は学生服が再利用されずに捨てられるのに疑問を感じ、今回の企画を立ち上げた。今回は100人ほど来場して、品定めをして服を選んでいった。金銭的に助かるという声や、前の人に感謝して使用するなど、好評なので来年も開催を予定している。

『法華經曼荼羅の研究』 ～制作者の「祈り」に寄り添う

名誉教授 中 哲裕（なかば てつゆう）



八尾町宮腰の本法寺様に『法華經曼荼羅』（重文）が大切に所蔵されている。この曼荼羅は美術史の研究者が中心となって研究が進められてきているが、難解な法華經思想について描かれたものであり、制作者や制作年、制作目的など何も分かっていないという仏画である。1年半前に春秋社様から『法華經曼荼羅の研究』を出版して頂いた。よく分からないという曼荼羅の制作者・年代、制作に込められた意図、どのように富山にもたらされたか等を明らかにしたものである。

私の専攻は「源氏物語と仏教の比較文学的研究」であったから、専門外と思われる『法華經曼荼羅』についての出版は躊躇（ためら）われた。学生の頃から文学や美術史・仏教関係などいろいろな研究会やサークルを遍歴し、多くの先輩方や友人達との交流の先にこの『法華經曼荼羅』があった。

この本の執筆に際し心掛けたことがある。

一つには、絶対に確実なもの以外は信用しないということである。絶対に確実なものとは曼荼羅に描き込まれている画材、そして歴史的文献である。画像の向こうに制作者の息づかいを感じとり、悲しみや喜びの声に耳を傾け、その祈りに寄り添うことであった。現代の研究には目は通したが、それに寄りかかることはしなかった。承久の乱関係の歴史書や史料は殆ど取り寄せ、目を通した。

二つには、徹底した現場主義である。曼荼羅が描かれた舞台を、私自身が目で見、肌で体験することである。訪れた承久の乱ゆかりの土地や寺社はおそらく100を越えたであろう。それらの場所を訪れ、いろいろな人と出会い、教えて頂きながら、制作者像が少しずつ具体的なものになっていった。

制作時期について目途が立ったのは宮内庁書陵部所蔵の「文永五年亀山殿曼荼羅供之記」を発見してである。中に20番まで番号があり、21から23番まで「々」と踊り文字がふってある。この23までの数字が『法華經曼荼羅』の掛幅に対応しているのではないかと気付いたからである。もっともこれは私にとっては真実に至る途中の一里塚・化城（けじょう）であったのだが。なお書陵部部長は中学・高校・大学と一緒だったTさんであった。向こうも私に気付いたようで、「世の中は狭い」と思った。

制作者は後嵯峨院と院を支えた法親王たち、文永五（1268）年には完成していた。嘉暦元（1326）年には放生津に曼荼羅はあった。この2つが間違っていれば仮説は崩れる。そうしたら出版は諦めよう。そのように考えながら曼荼羅年表を作った。B4、横置き、12頁にもなる。何年も年表を眺めながら八幡宮の周辺を調べ続け、鎌倉幕府滅亡の4ヶ月後に、曼荼羅の制作に若くして加わっていた覚助法親王が鶴岡八幡宮検校に就任していたことを発見し、推測が確信に変わった。

衝撃的な発表であったろうにもかかわらず、幸いなことに国文学を中心に研究者の間では好意的に受け入れられた。嬉しかったのは恩師の久保田淳先生から、お祝いのシャンパンをいただいたこと。これから多くの研究者に修正され、加筆・訂正されて、私の説が真説として受け入れられる時期がきっと来るであろう。

今は研究者人生の纏めとして、書き溜めてきたものの論文集『源氏物語の主題と仏教』を出版するべく、準備を進めている。早ければ今年の年末までに刊行される。残された時間は少ない。



写真撮影は2018年8月6日

本法寺風入れ法要にて。ご住職による曼荼羅絵解きの風景。

総合建設コンサルタント



信頼のおける技術で社会に貢献する

株式会社 建成コンサルタント

代表取締役社長 瀬 川 光太郎

本社 〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1
TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697

富山県公安委員会指定

富山県

第一自動車学校

〒939-0274
射水市小島 715 TEL0766-52-0722
<http://www3.canet.jp/users/td1>

人生、山あり谷あり

富山県立大学同窓会会長 野開 勝政



人生はよく山にたとえられます。

「人生、山あり谷あり」

人生は良いこともあれば悪いこともあり、そしてトラブルの連続でもある。

その時の一瞬の変貌で人生の命運を決する時もあり総ては自分で選択する、それは人生そのものではないでしょうか。

しかし、自分で選択出来ないことは山ほどあります。今がまさにその時であると思います。

人生いろいろ。自分の人生を振り返ってみて良かったのか悪かったのか？皆さんも是非これまでの人生を振り返ってみて下さい。

誰にでも人には絶対言えない、それこそお墓まで持って行かなければならない秘密は一つや二つ持っているのではないのでしょうか？私自身は数えきれないかも。秘密は誰にも言わないのが一番だと思えます。

年々、加齢とともに一年が過ぎ去るのが本当に早く感じるようになりました。私と同年代の方は同じ気持ちでおられるのではないのでしょうか。

令和2年から流行し始めた新型コロナウイルス感染拡大の波は未だ治まらず、終息時期も見通せないとは何とも歯がゆい思いです。この間の社会環境や日常生活は大きく変化しました。

どんな大金を使ってでも貴重な時間は買えないし戻すことも出来ません。ひとつでも若いうちにそして健康なうちに好きな旅にも行けない不自由な苦難の日々がこんなにも長く続くなんて誰も想像すら出来なかったと思います。

人生100年時代とは言ったものの健康でなければ意味がありません。

先頃、お昼を食べたことも忘れてしまい、いよいよ認知症の始まりかと慌てて脳ドックの申し込みに行ったらドクターいわく、貴方はまだ検査の必要は

ないと言われました。記憶が飛ぶことは誰でもあることだからまだ心配ないとのこと。良かったのか悪かったのか。

4月下旬には知床半島沖で観光船遭難事故がありました。まさか観光船が沈没するなんて誰も疑わなかったと思います。船上でプロポーズする予定であったカップル、3歳の女の子とその両親など乗客26名の無念さそしてご遺族の心情を思うと言葉がありません。

こればかりはこの先の人生は何が起こるか分かりません。一寸先は闇である。

「人生とは自分を見つけることではなく自分を創ることである」という言葉もあります。

たった一度きりの人生に悔いを残さず生きるために、「ああいい人生だった」と思える人生を送れるように生きたいものです。皆さんの人生行路が幸せに満ちたものであることをお祈りします。



ところで、昨年の同窓会活動であります8月に予定していた総会・懇親会は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2年連続の中止となりました。準備をして頂いていた実行委員の皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。また、例年11月に首都圏で開催されている「エトワール会」にも参加できず寂しい1年となりました。コロナ禍が一刻も治まるとともに本来の同窓会活動が再開出来るよう願っています。

さて、大学ではかねてより整備を進めてきました「DX教育研究センター」が3月末に竣工し完成式典に招かれました。また、「データサイエンス学部」を5年以内に新設する方向で検討していることがマスコミ報道で知りました。知の拠点として社会のニーズに応じた地域に根ざした産学官連携の大学づくりが着々と進められております。

我々同窓会といたしましても、学生や大学当局からも期待され、愛される同窓会活動にしていきたいと思っていますので、本年も同窓生皆様のご理解とご協力よろしくお願い致します。

広告掲載企業一覧



(株) 雄川コンサルタンツ
キクラ印刷 (株)
(株) 建成コンサルタント
(株) 国土開発センター
Web制作・デザイン 心彩
(株) サカエグリーン
三協立山 (株)
(株) 上智
(株) 新日本コンサルタント

水機工業 (株)
竹沢建設 (株)
中越興業 (株)
(株) 中部設計
デュプロ北陸販売 (株)
(株) 寺島コンサルタント
富山県第一自動車学校
松原建設 (株)

ウィズコロナを目指して

— 感染者多発地域に暮らす高齢者より —

澤 嘉昭

富山県立大谷技術短期大学
1968年卒 草農学科4期生



コロナ禍の中、独り住まいの母親の様子を見るため月一程度帰省している。富山駅に降り立つとお店はほぼ毎回普通に営業中で、飲食店では酒類が提供されている。これは新型コロナに対する緊急事態宣言(以下宣言)やまん延防止等重点措置(以下措置)の発令が短期間だったためと考えられる。

短期だったのは県民のコロナ感染防止への真摯な取り組みの賜物と思われ、まさに感服の至りである。このような状況を目の当たりにすると、日々が平穏であることが如何に幸福かを改めて実感させられる。また、自分の帰省によって高齢の親達に感染させないようにと身の引き締まる思いがする。

かく言う筆者は神奈川県在住である。人口10万人当たりの累計感染者数は7,955人と富山県の2.4倍になる(出展:NECソリューションズ 5/16現在)。そんな背景もあってか、帰省先ではしばしば接触を敬遠される。無理からぬことではある。むろん、日常生活では適宜感染対策を実施し(方法は既に周知済みの国等の基本的対策と同様のためここでは割愛)、さらに帰省前一定期間の外出は必要最小限とし、体調管理にも常時注意を払っている。ある千瓢読者は、帰省中に実家で泊まるのは子供達で、本人は近くのビジネスホテルに待避と言う涙ぐましい努力をしている。

令和3年の神奈川県は延べ8ヶ月間に亘り宣言または措置の発令下に晒された。先刻承知の通り発令中は生活が様々な影響を受ける。特に筆者を含む高齢者にとって長期の自粛・過度の萎縮は心身を疲弊

させるため注意が必要である(閉じこもり、運動不足、体力・筋力低下、転倒・骨折、持病悪化、新たな発病、酒量増、外部コミュニケーションの減少、情報過疎、孤独化、うつ病、認知症等々)。実際、下血に至るまで体調が悪化した知人がいる。また、高齢者にとってもネット等による新型コロナ関連情報の取得は大変重要である。情報は一方に偏らず幅広く目を通すと良い。

日頃相当こまめにコロナ感染対策を励行しているワクチン接種済みの友人が先日感染した。また、筆者は最近無症状感染者と接触したが、他のメンバーと共に検査結果は陰性だった。このように新型コロナの収束が見えない中では常に感染リスクが潜んでいる。しかし、適切な感染予防対策を講じれば感染は避けられる。今、ウイルスとの共存・共生を掲げたウィズコロナが流布している。終息までは決して気を緩める事なく、全ての施政者・あらゆる組織・全国民が丸となり自分の出来る感染対策に取り組む事が肝要である。次の記事は極めて簡潔・明瞭で正鵠を得ている。

<引用:日刊ゲンダイ DIGITAL 4/22>

“新型コロナは正しく恐れ、感染症対策は正しい知識・情報をもとに自分の状態に合わせて冷静に決断・実行する。今こそ基本に戻ることが大切。”

【写真】

最初の宣言解除後の登山自粛が解けてから初山行の筆者(県を跨ぐ登山はまだ自粛中で、まずは近郊・低山から)時を同じくして山岳四団体は共同で登山活動ガイドラインを制定
<三浦富士山頂183mにて200609>



Campus Topics ①

永年勤続表彰

長年にわたり本学の発展に寄与された功績を称え、永年勤続表彰式を2021年6月1日に行いました。30年勤続では、福原忠教授、高木昇教授、20年勤続では、鈴木真由美教授、小柳健一教授、井戸啓介講師が表彰されました。



「富山県立大学ニュース No.131 より」

名誉教授称号授与式

本学の発展に多大な貢献をされた前本学教授平原達也氏、高橋剛一郎氏、伊藤伸哉氏及び榊利之氏に、開学記念日の2021年6月1日付けで名誉教授の称号が授与されました。平原氏は図書館長及び研究倫理委員会委員長等を歴任されました。高橋氏は、38年にわたり本学教員として勤務し、地域連携センター所長及び主任教授等を歴任されました。伊藤氏は、学生部長及び主任教授等を歴任されました。榊氏は、主任教授及び教務委員長等を歴任されました。



「富山県立大学ニュース No.131 より」



私の好きなもの



中島 宏記 (なかしま ひろき)

短期大学部 農業土木専攻 1995 年卒

①マラソン

40 歳を過ぎ住民運動会でリレー (40 代の枠) の選手を頼まれたのをきっかけに少しずつ走り始め、せっかくならと、10 ヶ月後に開催される地元の黒部水マラソンでのフルマラソン初デビューを目指し本格的に練習を開始しました。結果は制限時間ギリギリの 5 時間 51 分でなんとか完走し、もう走らないと思っていましたが、時間が経つにつれもっと速くなりたいとの思いが出てきて、現在にいたっています。

コロナ前は県内や隣県を中心にフルやハーフマラソン、トレイルランニングと年に 6, 7 レースに出場するほど好きなものとなっており、日頃の練習はストレス発散と体力維持につながっています。



②登山

コロナが蔓延し始めてからマラソン大会も中止となり、目標や外出することが無くなったことから、ラン友さんや家族と始めたばかりの登山。景色を見ながら登ったり走ったりすることで何となく好きになってきましたが、まだ始めたばかりで、夏や秋の天気の良い時の日帰り登山しかしていませんが、今年は早月尾根側からの剣岳登頂を目指したいと密かに思っています。(誰か連れて行ってください)

③生き物

我が家は家族以外に、トイプードルや 3 つの水槽 (海水魚、熱帯魚、水草) に囲まれて生活しています。子どもの頃から近所の河原へクワガタ等を掴みに行ったり、インコやハムスター、熱帯魚など、爬虫類以外の生き物が好きでよく飼っていました。

今でも生き物がない生活に物足りなさを感じ、世話ができる範囲で飼っており、子ども達も比較的好きなようなので、家族の反対もなく飼えることに感謝しています。



《近況》

卒業後 26 年が経過し、まだ若い思いながらも 50 歳手前になりました。二人の子ども達も大学生と小学 6 年になり、あまり手はかからなくなってきましたが、まだお金はかかるので、いつまでも元気でいられるように趣味や日々の生活を満喫し、ウェルビーイング (well-being) を目指したいと思っています。

Campus Topics ②

令和 3 年度前期 地域協働授業成果発表会

2012 年 7 月 15 日 (木)、16 日 (金) の 2 日間にわたり、「地域協働授業成果発表会」を開催し、令和 3 年度前期に実施された、授業や研究室、サークルなどでの地域協働の取り組みを、学生がプレゼンテーションしました。氷見高校と連携し高校生と大学生が共同フィールドワークを実施した取り組みなどの発表があり、参加者は熱心に聴き入りました。



「富山県立大学ニュース No.131 より」

第 32 回 県大祭 開催

2021 年 10 月 23 日 (土)、24 日 (日) に学生が中心となって行う最も大きなイベントである「第 32 回県大祭」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策として、参加者は学内関係者に限定されましたが、「attack all around」をテーマに、オンライン配信をしたステージ企画、射的や e-sports 等の飲食を伴わない模擬店など新しい取り組みに挑戦し、大きな盛り上がりを見せました。



「富山県立大学ニュース No.132 より」

荒木 信幸 (あらき のぶゆき)

工学部 電子情報工学科 1998 年卒

①麻雀

インドア派には持ってこいの麻雀です。仲間うちで定期的に集まって、遊んでいます。運を引き寄せ合うゲームです。心理ゲームでもあります。調子良い時も悪い時もあり、いかに場を読むか、奥深い遊びです。精神的に疲れますが、懲りずにやります。今年に入り、役満5回上がりました。ここで運使って良いのか、毎度思います。



② YouTube

一日の時間が限られているので、見たい時に見たいものを見られる YouTube はとても便利です。ニュース番組、懐かしい音楽、ホラー系番組、ソファに寝転がって、あまり深く考えずにぼーっと見ている時間は至福です。

③筋トレ

コロナ前までは、パーソナルトレーニングへ行き、細マッチョ目指して頑張っていました。コロナ後は、家でアブローラーやダンベルを購入して、家トレにハマるようになりました。筋トレしたら、好きなもの食べても太らないという錯覚を起こしてしまい、今では、細マッチョではなくぽっちゃり系プロレスラーと妻からは言われるようになりました。



《近況》

家業を継いで今年で20年目です。早いものです。紆余曲折しながらも今仕事は何より楽しいです。ビジネスを通して、人が喜んでくれることに生きがいとやりがいを感じています。プライベートでは息子がカナダの高校に飛び立ちました。親として嬉しく思います。

声

◆得永栄治 (大谷・衛生工学・1965 卒)

今年に入って新型コロナが収束しているかと思っていましたが、今の状態は昨年よりもっと厳しい状態となってきております。いつになったら、元の生活に戻るのかわかりませんが、コロナ感染により、今までの生活様式が大きく変わったことも事実ですし、今まであたりまえと思っていたことにも見直しする必要も、これから出てくることと思います。何はともあれ、一日も早く収束することを願って！

◆早川俊一 (大谷・草農・1965 卒)

コロナ禍で頑張っておられる記事、嬉しく一気に拝読しました。又、笑顔の写真を見て元気をもらいました。勤めていた時、小林先生に文章の指導をして頂きました。今もしっかり覚えています。月1回水墨美術館で会議の記録をしますが、県庁 OB の先輩は簡潔でよいと言ってくれます。「千瓢」は毎回、内容(文章と写真)が素晴らしいものになっていることに感心する。

◆藤田人志 (技・応用数学・1975 卒)

毎号の『千瓢』に目を通し、先輩、後輩の前向きな姿勢に感動しています。第16号も、「声」欄で自分と同年の鈴木さんのを読んでスゴイと感動です。

◆北林恒好 (技・草農業・1978 卒)

特集記事、コロナ禍の学生生活のコーナーは、現在の学生の様子がよくわかりました。コロナに負けないで、学生生活をがんばって下さい。

◆位寄史好 (技・農林土木・1981 卒)

大谷技術短期大学が開学した1962年は、私が生まれた翌年です。早いもので、1981年に農林土木科

を卒業し、今年2021年に定年退職しました。たまたに、近くのモス太閤山店へ妻と行った時に立派になった県立大学の建物を見て、感心しきりです。

◆吉野久志 (技・農学・1988 卒)

毎回、届くのを楽しみにしています。短期大学を卒業して、30年余り経ちますが市民講座や放送大学の受講等で何度かお邪魔させて頂いていますが、その度に同窓会をやっていないので、皆さんどうしておられるかなと思い起こしています。

◆岡田美紀 (技・応用数学・1989 卒)

以前に県立大学の前を通った時、新校舎が出来ていて、デザインも素晴らしく、かなりキャンパスの雰囲気が変わっていてびっくりしました。コロナが落ち着いてダビンチ祭が再開したら見学出来たらと思います。

◆橘敬志 (大・機械システム・1995 卒)

長らく富山に行けない日々です。会社で県大生が居ますが、同じ状態。「千瓢」が富山との唯一のつながりになっています。

◆館 身果 (短・生物生産・1997 卒)

高橋剛一郎先生が退職だと知り、一抹の寂しさを感じました。専攻が違うので講義を習ったことはありませんが、廊下でよく声をかけていただき、ある日の土曜「今からカニが来てみんなで一緒にたべるけど、どう？」言われて、一緒に食したのが、私の懐かしい思い出です。剛一郎先生、ありがとうございました。

◆河端さよ (大・環境工学・2015 卒)

大変お世話になった古谷元先生が教授になられたことを知れて、夫婦で喜びました。コロナが落ち着いたなら、私達夫婦が通った大学を、息子に紹介したいです。



3冊の本

金城 朱美 (かねしろ あけみ)

教養教育センター准教授



2019年4月に比較文化学担当として本学に着任した。ドイツ語圏の語りの文化を広く研究しており、最近は文化遺産やクリスマス文化、幸福研究をおこなっている。昨年度から、講義で昔話を扱うことがあり、日本とドイツの食文化や自然観、価値観について学生に考えさせている。「グリム童話を知っていますか?」と尋ねると反応は鈍く、「シンデレラ」や「白雪姫」「塔の上のラプンツェル」といったディズニー映画のタイトルを挙げると、「知っている」と答える人が増える。同様に、私の研究テーマのひとつである「ヘンゼルとグレーテル」を知る人は多くないが、「お菓子の家」といえば皆知っている。グリム童話を素材とした映画やテレビ番組、コンピュータゲームなどから、昔話は多種多様に国内外で受容されている、しかし、その原話を読んだことがある人はどれぐらいいるだろうか。

ということで、まず、5巻本の『完訳 グリム童話集』(金田鬼一訳、岩波文庫 2003年)をお薦めしたい。グリム兄弟が収集した話を日本では「グリム童話」とよばれている。それは、グリム兄弟によって1812年から1857年まで、彼らが理想とする民衆の語りに近づけるために、何度も書き換えたドイツの昔話である。金田訳の古めかしい日本語表現から、話の古さがうまく醸し出されている。「漁夫とその妻の話」では、現状に満足せず、次々と欲しいものを夫に要求する妻が描かれている。欲深く現状に満足しない姿は、現代における地位財重視の生き方を表象しているようだ(女性の欲深さではなく、筆者は性別に関係なく人間がもつ所有欲への批判だと解釈している)。

次に、日本の昔話を読んでみると(稲田浩二・稲田和子編『日本昔話百選』三省堂 2003年)、グリム童話とは異なる価値観が描かれていることがわかる。たとえば、「たにし長者」では、信心深い夫婦により授かった子、田螺が人間の姿になり成功する話である。夫婦は、普通の子どもとは見た目も大きさも異なる子を愛情深く育てた。子は、長者の家に使いに行くと、長者に気に入られて娘を嫁にもらう。その娘は、父が決めた婚姻相手であったが夫を大事にする。妻の薬師寺参りの後で夫はイケメンに姿を変え、父に商いを任されて裕福になる。心のよりどころがあると幸福に導かれるようである。

一方、グリム童話の「ハンスぼっちゃんはりねずみ」で語られる、子どものいない裕福な夫婦に授かった子は、上半身がハリネズミで下半身が人間の姿をしていた。そのため、親に大事に育てられず、その子が家を出て行くと言うと父は喜ぶ。ハンスは森の中で生活していたが、道に迷った王様を助け、娘を嫁にもらう約束を交わす。王女がハンスにかけられた魔法をとくと、ハンスはイケメンに変身する。王女と結婚し王になったことを実家の父に報告しに行き、父の愚行を気にもせず父を城へ連れて帰る。子は親を憎まず、親の虐待に耐え、知恵を絞って一人で生活し、幸せになった話である。

昔話から、人を思いやる優しい心、分け合う精神、感謝の気持ち、一方で勧善懲悪をよしとしてしまう思考など、いい点も悪い点も再発見できる。昔話を読むと何らかの気付きがあり、忘れかけていた大事なことを思い出す。思いやりの気持ち、平凡すぎる毎日の尊さ、落ち着いて読書できるありがたさといった、ささいなことから感じられる幸せの大切さや、ユネスコ憲章前文「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」ことを。

ロボット研究から出発し、「幸せ4つの因子」を導いた工学者である前野隆司氏は、昔話の世界観を科学的に説明している。「やってみよう!」「ありがとう!」「なんとかなる!」「あなたらしく!」因子は、自己実現と成長、つながりと感謝、前向きと楽観、独立とマイペースをさし。それぞれの度合いが上がると幸福度も上がると述べている(前野隆司・保江邦夫『人間はロボットよりも幸せか?』マキノ出版 2017年)。昔話はまさにこの4因子を語っている。心に栄養補給でき、平和のとりでの土台になるのは昔話だろう。ロボットが(まだ)持ちえていないもので、人間にしかないのもの、それは「心」であると私は考える。しかし、前野氏は逆のポジションをとり、どちらにも心はないと説いている。是非みなさんにも「三冊の本」を読んでいただき、昔話からさまざまな気付きをえていただきたい。



同窓会正会員数

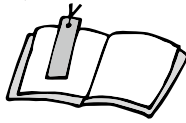
12,150 名

(2022年4月1日現在)

お願い: 住所不明会員が年々増えております。該当者をご存知の方は、事務局まで連絡いただけるようお伝えください。

私の人生を支えてくれた3冊の本

深沢 広治（ふかざわ こうじ）

富山県立大谷技術短期大学
1971年卒 草農業科7期生

今は、とくに令和の時代ですが、私が卒業したのは昭和46年3月（45年度卒）です。県庁の試験に何とか合格していたので、今で言う就活もなく、4月からは県職員研修の後、農林水産部に配属され、約40年間農業技術課や県下の農業改良普及センター、試験場などに勤務してきました。

その間、アメリカ合衆国への短期研修留学や長野県などへの派遣研修など多くの知見・技能を得て、様々な人脈を築くことが出来ました。

その間、様々な経験を積むことが出来ましたが、山あり谷ありでどちらかというと谷の方が多かったと思います。

谷に落ち込んだ時に助けてくれたのは、職場の仲間や友人知人、家族でしたが、様々な分野の読書で自分の世界を創りあげた時はストレス緩和や知力向上に大きく役立ったと思います。

私は子供の頃から新聞各紙を隅々まで読むことが好きで、役所では朝一番に出勤し、全国紙・地域紙、業界紙を読むことで情報収集の癖を磨いてきました。

また、社会人になって10年間位は、自衛隊雑誌や航空ファン、世界の艦船などマニアックな分野の本も読んでいました。

同窓会日誌



P10のつづきです。

2022年3月19日 学位記授与式

アイザック小杉文化ホール ラポールにて、令和3年度学位記授与式が挙行されました。

工学部331名、大学院工学研究科86名が門出を迎え、新しい人生への一步を踏み出しました。

下山学長が各科の代表に学位記を授与し、続けて大谷米太郎記念賞の授与式も行われました。

大谷米太郎記念賞は、大谷米太郎記念基金により、本学大学院において優秀な成績を修めた学生を表彰し、奨学金を支給するものです。



タイトルにある3冊の本を挙げるとすれば、「十八史略に学ぶ 勝者と敗者を分けるポイント」（三笠書房、村石利夫著）、「厳選1100 四字熟語」（永岡書店 金田一秀穂著）、「人物叢書 福沢諭吉」（吉川弘文館 日本歴史学会編集）です。

「十八史略に学ぶ」は、窮地に陥っても自分を信じ、力をどの様に出し切るかや、忍耐力を鍛える9原則などとても勇気づけられる本でした。

「四字熟語」は様々な場面での挨拶・スピーチで応用可能な本で、類義語や対義語も付随しており、今でも自治会会合や結婚式などで重宝しています。

「福沢諭吉」は、幕末から明治への日本の近代化への脱皮や新時代の担い手育成、西洋事情・学問のすすめ、慶應義塾大学の創立など幅広い活躍、偉大な先駆者としての活躍など、読んでいて圧倒されるばかりでした。

長男もこの本を読んだらしく、T大学やW大学を蹴って慶應義塾の理工学部に入り、博士課程まで9年間過ごし、工学博士号を取得できたのは望外の喜びでした。

以上、主なる3冊を紹介しましたが、県庁の業務中は当然のことながら農業関係の専門書もしっかりと読んでいました。仕事がしっかり出来ないと、家庭も趣味も味気ない逃げ場になってしまいますので、学生・現役の時代は基本の骨組みをしっかりするためにも業務上の読書と、活字の読書（スマホ、パソコンの画面文字よりも）を是非お奨めします。

最後に、富山県立大学の益々のご発展と、「千瓢」の末永いご繁栄をお祈り致します。



2022年3月19日 中尾哲雄氏

特別功労表彰状贈呈式 並び 名誉博士記授与式

アイザック小杉文化ホール ラポールにて、令和3年度学位記授与式に併せて開催されました。

客員教授としての講義や富山県立大学研究協力会の設立など、大谷技術短期大学時代から様々なご支援をいただき、継続して本学の発展に大きく寄与いただいた功績によるものです。

2022年3月26日 DX教育研究センター竣工式

富山県立大学では、令和4年4月1日にDX教育研究センターを開設します。

式では、下山勲学長が「大学や企業をつなぎ、社会変革する力になりたい」とあいさつ。新田八朗知事、渡辺守人県議会議長が「多くのイノベーションを期待している」などと祝辞を述べ、テープカットとくす玉割りで完成を祝いました。



イタイイタイ病資料館の「語り部」となって

柞山 明

富山県立技術短期大学

1976 年卒 草農業科 12 期生



ー「語り部」とはー

県立イタイイタイ病資料館（富山市友杉 151）は、平成 24 年（2012 年）に「イタイイタイ病」（以後「イ病」という。）という富山県で発生した公害病を二度と繰り返さないよう、関係資料を収集・保存、また、活用・展示して、貴重な教訓を後世に伝えることを目的に設立されました。

資料館の設立に併せて設けられたのが「語り部」制度で、親や祖母がイ病患者であったり、イ病裁判に関わった弁護士などが、希望者（団体）に体験談を交えた講話を行っています。

目的はイ病に関する教訓を自らが有している体験をもとに後世に継承すること。

イ病は、病気の発生から既に 100 年が経過していると言われており、公害病であることの証拠を科学的に示し、昭和 43 年、日本ではじめて、厚生省から「公害」の認定（富山県に置けるイ病に関する見解）を受けました。

その後、地域住民による組織（イ病対策協議会）を組織し、原因企業（三井金属鉱業株式会社）を相手取った裁判に完全勝訴するという、およそそれまでの公害被害者と産業優先を背景にした企業との関係からは想像のつかない画期的な結審を迎えることとなりました。

しかし、これらは昭和 47 年 8 月のことであり既に半世紀を経過していることから、事実や経過の風化が危惧されています。

さて、当初から「語り部」としてご活躍された皆様が年齢を重ねられ、次世代への継承が囁かれていましたが、私の母方の祖母がイ病患者であったこと、また、父が汚染田の復元事業に尽力した経緯から白羽の矢がたった次第。及ばずながら、学生諸君をはじめ子供たちに、展示室では紹介できないエピソードを交え、分かり易く事実を伝えようと思っている。

ー三つの約束ー

私の講話の骨子は、原因企業との間で 2 つの誓約書と一つの協定書が交わされたこと。一つは、患者の救済（イ病の賠償に関する誓約書）であり、もう一つは汚染田の完全復元（土壌汚染問題に関する誓約書）です。そして、画期的ともいえるのが公害防止協定であり、現在も続いている、住民、弁護士等による「立入調査」を通して発生源対策の徹底を図っています。この取り組みから神通川は「清流」に戻り、復元した農地が再び汚染される心配もなくなりました。

このように、正に S D G s（持続可能な開発計

画）な取り組みが 50 年前から行われてきたことになり、原因企業を潰すことなく、むしろ、そのコンプライアンス意識を高めさせながら、公害根絶に共に取り組む思想と姿勢は、内外の公害問題解決への道標になるものと考えます。そのことの意義や意味を伝えたいと思っています。

一次代の起業家に捧ぐー

富山県立大学に学ぶ学生の多くは、技術者として仕事に就くことと拝察しますが、BCP や ESG 投資を例に引くまでもなく、世界の投資家は、事業継続の手段を持たない企業や、環境や社会に対して不誠実な企業を決して投資先には選びません。企業が S D G s に取り組むのではなく、今や S G D s の思想の中に企業活動があるのですから。

イタイイタイ病とは

神通川の流域に発生した公害病。地元の萩野昇医師などによって原因が解明され、昭和 43 年（1968 年）に厚生省から日本で初めて公害病とされた。明治期後半に岐阜県神岡町で三井による本格的な鉱業生産が始まり、亜鉛や鉛を産出したが、その過程においてカドミウムを含む大量の鉱毒が支流の高原川から神通川に入り、やがて、農業用水などを通して住民の体内は基より水田にも蓄積され、稲の生育にも悪影響を与えた。慢性カドミウム中毒により大正から昭和にかけて多くの患者がイタイイタイ病に罹患し、腎臓障害から骨がもろくなり、軽微な力でも骨折するため、患者は想像を絶する痛みを苦しんだ。当初は地域の奇病として扱われ、患者は不遇な環境に置かれることが多かった。

熊本県の水俣病、新潟水俣病、四日市喘息と並び、四大公害病とされるが、住民組織が三井金属を相手取った裁判では日本の公害裁判で初めて地裁、高裁ともに勝訴し、その後の公害裁判に大きな影響を与えた。



富山県立イタイイタイ病資料館



Web制作・デザイン

心彩ここいろ

射水 〒930-0857 射水市広上 361-33
高岡 〒933-0326 高岡市美鳥町 2-98

<https://coco-iro.com>

プレゼント 10名様



iiispoon (いいスプーン)

《国際プリン協会がプロデュースした木製スプーン》木製カトラリーのリーディングカンパニー × 国際プリン協会

プリンをはじめとするデザートを食べるのに適した形状を追求した木製（天然木）スプーン。

濱口竜平氏（国際プリン協会会長）が監修し、日本における木製カトラリーのリーディングカンパニー有限会社藤芸（TOUGEI）が製造を手掛けるこの木製スプーンは、プリン、ゼリー、ヨーグルト、アイスクリーム、イチゴ、茶碗蒸し等のデザートやカップ系の料理での食べやすさはもちろん、赤ちゃんの離乳食や、子ども用のスプーンとして、幅広い用途での使いやすさを追求されています。

天然木の柔らかさ、連続する曲線とスプーンのツボ（すくう部分）と柄の境目の無いフォルムは、スプーンのさし心地と、口から抜く際の口離れ、そして持ちやすさを高次元でバランスが取られています。



【お問い合わせ】

a.278 for SLOW LIVING

富山県高岡市荒屋敷 278

E-mail : web-shop@nagae.co.jp

— 前号プレゼント当選者発表 —

『あんぽ柿のジャム』

藤田 人志 さん	金岡 寿也 さん
伏間 真裕子 さん	桂川 美咲 さん
河端 さよ さん	館 身果 さん
佐々木 淳矢 さん	渋谷 恭子 さん
堀田 悠斗 さん	山川 舞 さん

当選おめでとうございます。

～抽選で10名にプレゼント～

「いいスプーン」希望と書いて、はがきかメールでご応募ください。ホームページからもご応募できます。締切 9 月末（当日消印有効）

応募先

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

富山県立大学同窓会 「千瓢」編集部

Email:

senpyokai@pu-toyama.ac.jp

ホームページ:

<https://tpu-dosokai.jp/>

応募フォーム



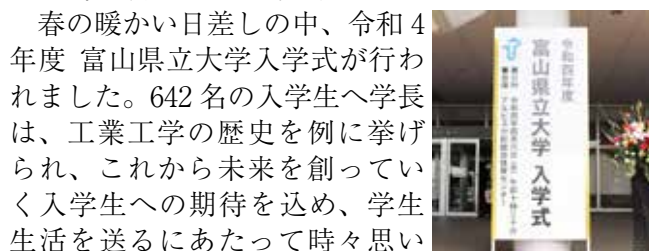
同窓会日誌

P21 のつづきです。

2022 年 4 月 6 日 入学式

春の暖かい日差しの中、令和 4 年度 富山県立大学入学式が行われました。642 名の入学生へ学長は、工業工学の歴史を例に挙げられ、これから未来を創っていく入学生への期待を込め、学生生活を送るにあたって時々思い出してほしいことを 3 つお話しされました。その中のひとつ「大学での研究課題は教科書やインターネットを探しても答えは見つかりません。これまで学んだものを基礎として教員と共同して、未解決課題に取り組むことにあります。時として道に迷い心細くなったとしても、富山県立大学の教員は未踏の頂を極めるために正しい方向にガイドしてくれるので安心してください。」と式辞を述べられました。

今年は、保護者 1 名の制限はありましたが、人数も増え、アルビス小杉総合体育センターでの開催となりました。



Facebook もご覧ください。



2022 年度同窓会総会中止のお知らせ

8 月に開催を予定していた総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない現在の状況に鑑みて、中止といたしました。

富山県立大学同窓会へご寄付をいただきありがとうございました

たくさんの方から寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

この芳名録は以下の基準で掲載しております。

- 2021 年 6 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日までに、5 口以上ご寄付いただいた方々を掲載しております。
- お名前は五十音順とし、肩書を省略して掲載しております。
- お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。
- ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、同窓会事務局までご連絡ください。

位奇 史好 様
植松 哲太郎 様
浦田 孝志 様
柏原 暁志 様
黒川 浩正 様
芝田 信栄 様
鈴木 清美 様

高橋 多美枝 様
田中 正人 様
塚原 義夫 様
得永 栄治 様
得能 弘美 様
広瀬 慎一 様

藤井 明 様
藤木 一博 様
藤田 人志 様
藤村 登之正 様
水元 睦雄 様
水上 哲 様

水木 誠 様
三井 啓揮 様
南 眞知子 様
宮林 良子 様
安田 郁子 様
湯浅 ひとみ 様

ほか匿名 23 名様

寄付金総額 **983,593** 円 (総件数 236 件)

(2021 年 6 月 1 日～2022 年 5 月 31 日受入分)

寄付金は1口 2,000 円です。(何口でも可) 5 口以上寄付をしていただいた方にはプレゼントをお送りします。お振込方法等の詳細については、別紙をご覧ください。

ご意見、ご要望、住所変更手続きなど、各種お問い合わせをお待ちしております。

富山県立大学同窓会公式 WEB サイト
<https://tpu-dosokai.jp>



Facebook 公式ページ
fb.me/tpu.dosokai



編集後記

▼今年の 4 月 1 日開設された「DX 教育研究センター」の取材のために、数冊の参考書を読んだ。DX という言葉は聞くが、内容が今ひとつよくわからないデジタルトランスフォーメーション、「DX の教養 (デジタル時代に求められる実践的知識)」(志度昌宏、三菱ケミカルホールディングス 先端技術・事業開発室 DX グループ／2021 年 4 月 1 日発行／インプレス) を参考にして、唐山英明 DX 教育研究センター所長の話をついた。それが巻頭のインタビュー記事です。唐山教授の DX の考え方やセンターの働きについて、大変わ

かりやすく説明していただいた。圧巻はセンターに 30 × 80 メートルのスペースがあり、そこが研究のスペースとして開放されていて、学生さんや企業の研究者がお互いに話し合い、そこから共同研究が進み、それも一社でなく複数の会社が絡んで研究が進みすてきなものが生まれるように思う。

▼「日本の伝統を世界に伝える」をコンセプトに活動を続ける DEN-DEN の山崎裕貴さん。伝統工芸高岡漆器の伝道師のような活動を続けている。高岡漆器のどんな魅力が発信されるか楽しみだ。

▼今回もアンケートはがきを同封しました。皆様のご意見をお待ちしています。

(2022 年 6 月 9 日 池上 勁)